

教育行政

小・中学校へのエアコン設置

質問 学校へのエアコン設置の必要性は先の6月議会でも取り上げさせていただきました。児童・生徒の心身を守り、健康的な学習環境を整える意味でも早急な整備が必要ですので再度質問致します。気象庁の発表によると、今夏は全国927観測所のうち125地点で史上最高温度を更新し、今後も気温上昇の記録更新は避けられないとの予測が出ています。熱中症で保健室の利用が増えているようで、高温による集中力の低下・授業への影響が懸念され、室温調査でも市内27校中の実に25校が35℃を越えています。今年度ですべての学校の耐震化が完了しますので、文科省の示す**学校環境衛生基準**(夏季は30℃以下・最適温度25℃～28℃)に合わせるため早急にエアコンの設置をしていくべきだと思います。

答弁 気温が高い時の工夫として、4階の教室などは風通しの良い1階で授業を実施したり、単元を工夫して特別教室で実施したり、校庭での体育は体育館に移動し工夫をしました。しかし、暑さが気になり授業中に集中を欠く児童生徒や休み時間に体調不良を訴えて保健室で休む、場合によっては早退する児童生徒もいました。エアコン設置済みの北本市・上尾市の様子を聞いたところ、何より授業を受けやすくなった、保健室の利用が減った、給食をたくさん食べるようになった事などが挙げられました。6月議会では耐震化が最優先の課題とし、その後に予定している大規模改修工事の中で研究していくと答弁をしました。教室の室温測定の結果を踏まえた教育委員会での議論や児童・生徒の健康と安全な学校環境を守る観点から『設置に向けた検討』を進めていきます。

再々質問…市長より 『早急にエアコンの導入を計って参りたい』との答弁

経営政策行政 ふるさと納税制度の工夫と活用

質問 鴻巣市ではふるさと寄付金を『環境にやさしいまちづくり基金』・『市民活動支援基金』・『子ども教育ゆめ基金』の3基金に積み立てています。今後それら3事業が積極的に展開できるように『PR強化』に努める事が必要だと思います。また、『子ども教育ゆめ基金』の、中学生の海外派遣では保護者の負担が1人約8万円がかかっていますので、ふるさと寄附金制度の周知により保護者の負担軽減や派遣人数の増加もできると考えます。

答弁 総務省がすべての自治体を対象としてふるさと納税の運用実態を調査しています。手続きの簡素化に向けて確定申告の省略や自己負担額となる適用下減額を現行の2千円から引き下げる検討をしています。今後、国の制度改正や他市の実施状況や周知方法を参考にしてホームページの充実を図りながらPR強化に努めて参ります。

近隣市の学校へのエアコン設置状況（普通教室）

さいたま市100% 上尾市98% 北本市(今年度中に100%)
桶川市0%(予算化) 熊谷市96% 行田市0%(予算化)

鴻巣市
設置方針が決定



編集コラム 9月より議会インターネット中継が始まりました。生中継をご覧になれない方には録画映像も配信しています。これからもカメラを意識せず自然な姿を心がけていきたいものです。